

【②業務改善】

災害対策推進と防災教育への取り組み



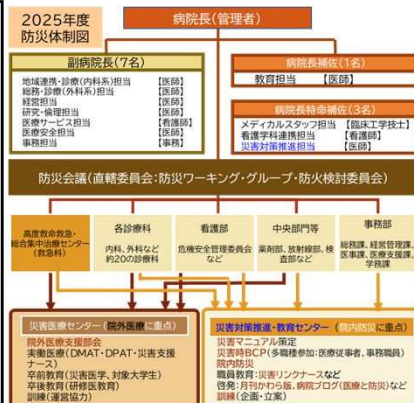
三重大学医学部附属病院 災害対策推進・教育センター



ミーベとミッピー(防災バージョン)
(三重大病院公式キャラクター)

①経緯(背景・目的)

- 課題1: 災害対策の重要性は誰もが認識していたものの、優先順位は高くなく、防災教育も部門・部署ごとにニーズが異なり、病院全体として統一した取り組みができていなかった。
- 課題2: 医療スタッフは「院外医療」、事務職員は「院内防災」に重点を置く傾向があり、マニュアルや事業継続計画(BCP)の策定における多職種連携が困難であった。
- 取り組み: 2021年4月、災害対策の推進、院内防災体制の整備、実災害で活躍できる人材の養成、災害医療教育の普及啓発を目的として「災害対策推進・教育センター」を設立した(2025年9月現在: 7名在籍[医師1名、看護師2名、臨床工学技士1名、事務職員3名])。



②取組内容

2021~2022年度は院内の防災体制の確立と情報収集に取り組み、2023年度からは病院BCPや防災マニュアルの策定、防災会議や机上訓練、備蓄の整備、防災実働訓練、職員への周知・啓発と活動を拡大した。

・病院BCPや防災マニュアルの策定

院内を100部門に分けて重要業務を整理した。



・防災会議と机上訓練

月例で防災会議を開催し、BCPに基づいた机上訓練やロールプレイング訓練も会議内で実施した。



・水・食料・医薬品の備蓄整備

災害時を想定して複数階に高所・分散配置した。



・防災実働訓練

災害対策本部、トリアージ、消防訓練、津波避難訓練など、実災害を想定した訓練を実施した。



・職員への周知と防災意識の啓発

毎月、院内広報誌「かわら版」を発刊し、病院公式ブログ(医療と防災)を公開した。



③成果

- 各部門・部署でも小規模訓練が実施されるようになり、災害対策への意識が着実に醸成された。
- 病院執行部から一般職員に至るまで、医療スタッフと事務職員との多職種連携が活性化した。
- 2025年6月に受審した病院機能評価3rdG. Ver3.0「4.6 病院の危機管理-4.6.1 災害等の危機管理への対応を適切に行っている」の中間報告において、「S評価(秀でている)」を獲得した。
(参考: 2018~2023年度にVer2.0で受審した(一般病院3)89病院のうち、4.6.1のS評価は5.6%)



もっと詳しく: 三重大学医学部附属病院 災害対策推進・教育センター
【<https://www.sv.hosp.mie-u.ac.jp/saitai-kyouiku/>】

